



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
■会長：楠原忠夫 ■副会長：潮田悦男 幹事：橋本和典

発行日 / 2012年 10月 2日
2012-2013/12

Vol.34

No. 1618

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp
2012-13年度当クラブテーマ

『活力あるクラブ作り』

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 河本 英典

Bridge the Gaps



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

●現在病院に入院中の楠木会員より出席規定適用の免除申請が出ましたので、持ち回り理事会で本日承認致しました。

●先週橋本幹事からちょっと話がありましたが、佐川会員は経過が良く、19日よりご自宅で療養されています。楠木会員も経過が良く、近日中に退院されるかも知れませんので、お見舞に行かれる方は（病院におられるかお家におられるか）確認して行ってください。井上会員は病氣入院中です。近日中に3人の方の病氣お見舞に私と幹事と親睦委員長で参りますので、また次週報告したいと思います。

委員会報告

社会奉仕委員会：宮西委員長

9月21日学園前ホールで開催されました秋の交通安全運動市民決起大会に参加してきました。その中で、交通安全功労者・個人の部で当クラブの有井会員が表彰されておられました。また、メンバーの会社で、交通安全優良事業所部門で、奈交自動車整備(株)さん及び三和建設(株)さん、優良安全管理者部門で(株)シードコンサルタントさん、近畿日本鉄道(株)さんが表彰されましたことをご報告させていただきます。ご参加頂きました皆様、本当にどうもありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



例会プログラム

第13回 10月 2日
通算1618回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「君が代」
「それでこそロータリー」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. クラブ討論会②
(職業奉仕担当)
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第12回 9月25日
通算1617回

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	24名
◎出席義務者数	47名
◎欠席者	9名
◎出席者	50名
◎出席率	84.75%

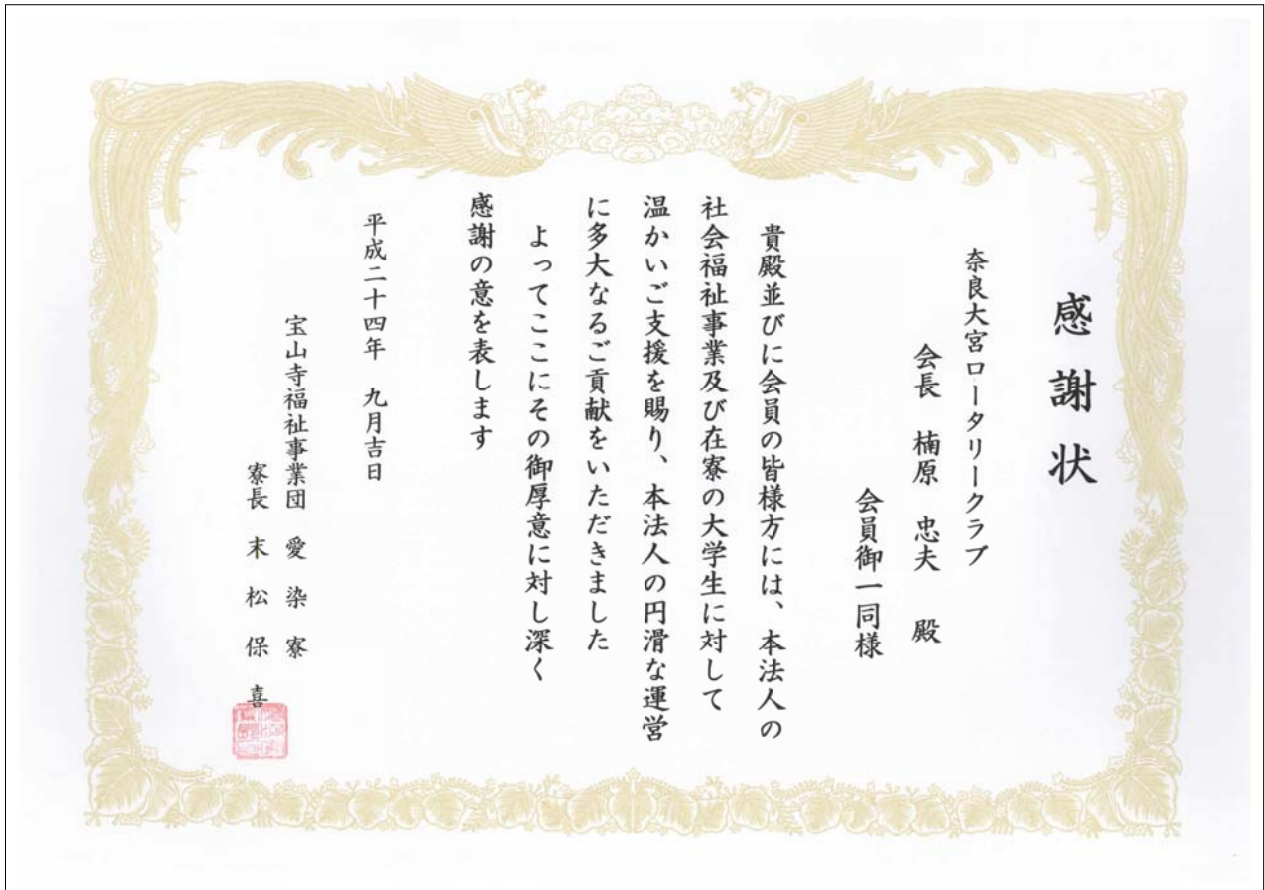
第10回 9月9日
通算1615回の修正

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	23名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	12名
◎補填者	10+2名
◎出席者	60名
◎出席率	96.77%

新世代委員会：藤井委員長

●今日、状差しに入れさせて頂いたのですが、新世代育成シンポジウムのご案内でございます。日は11月10日、場所は立命館大学朱雀キャンパスです。もし参加したいという方がおられましたら、私か事務局までお申し出ください。締め切りは10月25日です。

●先般奨学金をお渡しさせて頂きました子供達からの手紙と寮からの感謝状が届いております。またこれは皆さんにご披露させて頂きます。会長並びにクラブの皆さんに感謝状が届いております（回覧）。お礼状が届いておりますので、代読させて頂きます。お二人からの礼状もありますので回覧致します。



ロータリー情報委員会：多田廣委員

今年度は先月より月一回、ロータリー情報委員会が3分間卓話をさせて頂きまして、最初は麴谷委員長がされまして、今回は楠木さんがされるはずでしたがご存じの通り入院してらっしゃるので、私が急遽代理でさせて頂きます。

前回は「ロータリーの誕生」という事でしたが、今回は「ロータリーの哲学の発展」ということでお話させて頂きたいと思います。ロータリーの発祥はご存じの通り1905年2月23日シカゴのポール・ハリスを含めて発起人4人が集まって始まったのがロータリーの最初です。そして、翌年1906年1月に定款ができました。最初、ロータリーの発足はご存じの通り純粋な社交クラブ的感觉でしたので、それに伴ったような外郭になっております。それには、

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大を図る
2. 通常社交クラブ付随する親睦およびその他時に必要と思われる事項の増進

という二つでありました。そして、最初は、会員相互の事業上の取引等が遵守され、毎回報告をされていきました。最初のクラブの記録にもそういうことがきちんと載っております。



そして、奉仕的な考えが出てきましたのが、1907年に第三の綱領が追加されました。

3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

こういうことです。そして最初の公共奉仕という活動をされたのが、同じく1907年で、その当時公衆トイレというのは一般的にありませんでしたが、商店などでお借りする時もやはり買い物をするか常連のお客様でないと思わせてもらえませんでした。それをロータリーが提供し、色んな奉仕団体に共同して事業をしようとお誘いをしたのですが、喧々諤々で結論が出ず、クラブ単独で、最初はシカゴ市役所屋外に公衆トイレを設置しました。これが奉仕活動の最初でした。そしてこの綱領3のことが先の1などに大きく外れているということで、会員同士にかなり緊張が走ったようです。

そしてそれから後、1908年第1回ロータリークラブ全米連合会総会が開かれました。この時は全米で16のクラブと会員が1,500名ほどおったようです。そしてその席上で、よくご存じのアーサー・フレデリック・シェラトンが「He profits most who Service fellow best（最も多く奉仕するもの最も多く報われる）」の職業奉仕の概念を提唱し、これが1911年の第2回全米ロータリークラブ連合会総会でロータリー宣言として採択されました。

「He profits most who service best」（fellowは消えています）

そして、1913年に全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓（道徳律）を作る事が決まりました。1923年（大正12年）には我々にお馴染みの例の決議23-34というロータリー宣言がありますが、「ロータリー一つの人生哲学であり、Service above self（超我の奉仕）は奉仕哲学でありHe profits most who service bestはその実践哲学である」と記されています。その後1943年（昭和18年）に「四つのテスト」がR I 理事会で採択されました。これはご存じの通りロータリアン個々の活動倫理といいますが、活動指針としていまも我々も謳うもので、かなり厳しく教え込まれていることです。最近では職業奉仕を重視する考え方が社会では薄くなってきているようで、大委員会、奉仕プロジェクト常任委員会の中の小委員会として社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・新世代奉仕が記入されていますが、いま日本のロータリークラブは全て職業奉仕を非常に重視しております。我々のクラブもご存じの通り五大奉仕（もう一つクラブ奉仕がありますが）、その委員長さんは全てうちのクラブでは理事にお願いしております。そういうことで、世代の考え方が変わって来ております。例えば会員選考の基準にしても一業種一代表だったのが一業種について5名とかになっているということで、これもうちのクラブは基本的には一業種一人という考え方が基本です。皆さん、いわゆるロータリーの奉仕活動ということについては一度ゆっくりお考えいただくことが肝心かと思いません。

前年度会計報告・山本尚永前年度会計

大変遅くなりましたが、井上年度の会計報告をさせていただきます。先ず収入の部ですが、合計決算額は34,562,114円となりました。この内に前期繰越金（昨年度は定期預金額を入れておりませんが、今年度は理事会で定期預金を含めて表示しようということになりました）6,408,936円を含んだ金額となっています。

支出合計が27,586,355円、次期繰越金6,975,759円で合計34,562,114円となりました。

資産としては現金預金が2,135,308円、定期預金が6,000,000円、合計8,135,508円。

負債としては未払い金が1,159,549円あり、正味財産（次期繰越金）は、6,975,759円となりました。これとは別に周年事業分として特別会計1,135,635円があります。

これで2011年～2012年井上年度の会計報告を終わらせて頂きます。

会計・監査：富川会員

井上年度の会計監査を行いました富川でございます。会計・監査報告をさせていただきます。9月3日に事務局で（最終的には9月20日に終わりました）監査させていただきました。収支決算書および会計帳簿、ならびに証憑書類を監査いたしました結果、収支決算書等の合計金額は正確であることを認めます。ただ、一部の支出につきまして問題点があると思われました。その支出に関しては理事会で承認・決定されている支出であります。クラブ定款・細則・事務取扱内規に記されている定めと相違があります。そういうことで、事務取扱内規と理事会決

定のどちらを優先するののかという問題点がありました。その点につき指摘しましたら、当該年度は理事会の決定を優先するような意向でありましたので、それ以上のことは私も訊きはしませんでした。ただ、過去に於いてこれと同様の費用は発生しておりますがその時の処理はこれとは違っており、クラブからの支出はされておられません。今年度（井上年度）理事会に於いて特別に認めるということであれば、その特別な理由を明確に提示して、記録に残すべきではないかと思えます。今後また同様の事由が発生すると思えますので、前例とならないようにする為にもそれを記録に留めて頂きたいと思えます。以上で監査報告を終わります。

幹事報告

奈良教育大学から平成24年度秋季留学生懇談会の開催についてのご案内がまいっております。今秋新たに各国から31名の留学生が奈良教育大学に来られたそうです。その留学生、学生チューター、大学教職員との親睦・交流を深めたい為に、来る10月19日奈良教育大学学生食堂において立食形式にて懇談会を催したいという案内です。もし行きたい方がおられましたら事務局までお申し出ください。申し込み締め切りは10月1日となっております。よろしくお願いたします。

卓話

食育ハーブガーデン協会 理事長
大阪樟蔭高等学校教育アドバイザー 田中 愛子 様
「奈良 千年の食育を考える」



私は料理研究家です。食育活動をしております。食育も多種多様な食育がありまして、親子クッキングや、町おこしのイベントで地元のものを食べましょう、というものが多いのですが、私はアメリカのアリスウォータースさんに学んだ食育活動を中心にさせていただいており、現在80の施設、学校で活動をしております。これの基になりますのはグリーン革命という本と、アリスウォータース40周年記念の本で、アリスウォータースは現在67歳、戦争反対を訴えているような女性でした。その頃のアメリカは大農業主義で空から農薬を散布し、大量生産、大量消費に入るところでした。彼女はそれではいけないと思い、オーガニックという言葉を使い始め、自分の小さなレストランを開きます。フランス風の料理をしたい、地産地消を旨としたフランス料理、食材は地球のため、子供たちのために農薬を使わず運営され、現在も経営されています。1995年彼女の近くの小学校、中学校の低所得者層の学校がものすごく荒れていました。学校に子供が来ない、そこで校長先生と一緒に畑を作り、キッチンを作りました。小さい時から土を耕し、自分の食べるものは自分で作る、きちっと座って食べるという活動をしていたところ、2年後には子供たちが学校にもどり、成績も非常に上がりました。そこで地域の公立の中学校のカリキュラムに入れられ、すべての学校で畑を持つようになり、今では3千ものアメリカの公立中学校のカリキュラムに入りました。これをするにはどういう効果があるか、まず健康になれる、今健やかであるということは幸せの一つです。それには食の基本的なことを学ばなければならない、これは小さい時からしなければならない、オーガニック、無農薬がどんなに大きな意味があるか、小さい時から学ぶことが大切です。またモラルを勉強することは食と一致します。きちっと食べること、育てることによって辛抱ができる、ともに喜びを分かち合える、この学びを広めていこうということになりました。未来の子供たちに食の知識を伝えていきたい、ホワイトハウスでもこのような活動を真剣にとらえています。グリーン革命という本、これはオバマさんの側近のトーマスフリードマンが出された本ですが、ここでホット、フラット、クラウドディッドという言葉がテーマとなっております。ホットは地球温暖化のことです。化石燃料に頼る生活をしていくことによってどんどん温度が上がる、水不足と激しい水害にあう、今私たちはそういう状況にあります。フラットは市場がまっ平らになる、今日本でも起こっている問題で、日本の空洞化です。市場が世界中同じ市場になる、日本の産業が外に出ていっているように、グローバル化することによ

て、中国で作ったものが世界で売られるというように、グローバル化が非常に市場を荒らしているということです。クラウドイッドは人口増加です。現在地球の人口は70億人ですが、昭和30年は35億人でしたので倍になりました。30年後はこれが100億人になり、100億人になりますと食料が全く足らなくなるのが現実です。日本、アメリカなどの成熟国は人口が減少していき、増えていくのは、中国、インド、紛争国のイスラム圏です。イスラム圏は一夫多妻制ですから単純に増えていき、30年後には日本の成熟した思想やヨーロッパの成熟したキリスト教の思想が、反対にイスラムが6割になり私たちが4割になる、バランスが崩れてくることをアメリカは懸念しています。以上のような状況の中、私たち60代が子供たちに日本とは何なのか、日本の国の美しさは何なのか、食べることを通じて教えていかなければなりません。またその時に一番大切なことはモラルということです。モラルが崩れている時代、食べればいい、おなか膨らめばいい、ではなくきっちりと食べていきましょうということです。私は、アリスウォーターズのレストランに行き、非常に衝撃を受けてこの活動を思いつき、近くの学校に行き、やりたいことを説明しました。ただ畑は非常に難しく、春に植えて夏に収穫するものでは子供たちが学校にいませんし、考えました上で、すぐ育ち収穫できるハーブの活動にしようと思いました。その活動が一つ一つ増えてきまして、大阪樟蔭の幼稚園に通っているときには高校の先生から、健康と栄養のコースを作りたいので是非考えてほしいとのご依頼があり、これは添加物の問題や、地球汚染の問題など、いろいろなものを一緒に考えながら食の未来を考えようというコースで、そのコースも立ち上がり、40人の生徒が入っています。また薬師寺さんともご縁ができて、駐車場から薬師寺に至る参道にハーブを子供たちと植えております。ちょうど3・11が起きました、世の中がどうなるのだろうという時に始まりましたので、日本の復興と東塔再建が無事終わりますように、そして日本の子供たちに健やかな未来がありますように、また食べることに感謝をして、どのように日本をこれからも守っていけるのか、ということを考えるきっかけになればいいと思って活動しております。日本の自給率は38%です。イタリアとギリシャが58%、一番自給率が高いのは22%のカナダ、そしてアメリカと続きます。フランス、イギリスは85~95%でだいたい自活できるようになっています。国が破たんすることも不思議ではなくなった時代に、38%というのは次が北朝鮮です。もし私たちが輸入できなくなったら、北朝鮮と同じ状況になることになります。ギリシャが58%で、国が破たんするかどうかわからない状況になっておりますが、その時何が問題になるか、国が破たんしても食べていけば大丈夫ですね。食べるだけの自給率をどのように守っていくのか、それを子供たちと一緒にやりましょうということで、学校の隅々にニンジンやトマトを植えたりもしております。

ロータリークラブさんでも、そういう議論をして、何か次の世代に残すものとして、子供たちの健やかな未来が続きますように、お考えいただきたいと思います。フランスでは今、週3回しか公立の学校は行けない、街が破たんしておりますので先生が雇えない、これは日本の近い将来にあり得ると思います。格差、新格差の時代でもありますし、長寿地獄といわれまして、長生きはするけれど本当に幸せなのかという議論、新しい価値観の時代になりました。ロータリークラブの皆様がこれらの議論を持たれ、奈良というたくさんの方々の資産をお持ちのこの地から、それを生かしてリーダーになっていただければと願っております。スローフードという言葉が聞かれたことがあると思います。スローフードを起したのはイタリアですが、社会主義活動の方々が、1980年代にアメリカからファーストフードのマクドナルドが入った時に、おいしいものがたくさんあり、豊富な食材の揃っているこの国に、世界中同じ味の同じものを食べるような食文化は入れたくない、ということでスローフード協会ができました。またオーガニックという言葉も高まっておりそのような食の動きを奈良の街で起こしていただきたいし、ここがモデル地区になれば嬉しいです。皆様のお近くの幼稚園や小学校がありましたら、お声かけいただきましたら公演やハーブを植えさせていただけたいと思います。ただそれらの活動は、すべて協賛金からなっておりますので、皆様の温かいご支援をいただければ幸いです。



- 楠原忠夫 君 田中先生 本日の卓話宜しく申し上げます
- 橋本和典 君 この連休、妻の還暦祝で城崎温泉に子供達が招待してくれました。城崎マリワールドで楽しく孫達と遊んでいる若きパパやママの姿に30年前の自分たちの姿が重なりました。妻はウルウルでした。
- 野崎隆男 君 田中愛子先生 本日は、ご多忙の中卓話講師を引き受けて頂き大変感謝しております。卓話楽しみにしております。
- 計良隆司 君 9月20日東京で北河原公敬さんの出版パーティーが盛大に開催され無事終了いたしました。恵比寿RCの方も多数出席されました。
- 中村信清 君 ニコニコ協力
- 多田 実 君 ニコニコ協力
- 山本尚永 君 ニコニコ協力
- 森山斗福 君 ニコニコ協力
- 中奥雅巳 君 ニコニコ協力
- 倉田智史 君 毎日、尖閣諸島の話がニュースに出っていますが、国有化の売買金額は0.5円/m²だったそうです。国交正常化40周年もキャンセルされ大変だな～と書いていたら最近夜が寒くて、カゼを引いてしまいました。皆さん朝夕寒くなってきましたので、カゼを引かないようご注意ください。今月もたくさんのニコニコありがとうございました。

例会変更のお知らせ

10月

- 桜井ロータリークラブ■
 - ・10月31日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ※ビジター受付は例会場(桜井市まほろばセンター)にて
12:00~12:30まで行います。
 - 大和郡山ロータリークラブ■
 - ・10月8日(月・祝)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ・10月29日(月)・・・職場見学会の為、時間・場所の変更
時間:10:30~15:30
場所:信貴山のどか村
- ※両日ともビジター受付はございません。

次週の例会

平成24年10月9日(火)
卓話 社団法人まちづくり国際交流センター 理事長
吉田 浩巳 様
「NPO法人の中身について」